

「つくば市民のための健康と生活調査」の説明文書

この文書は、「中・高齢者の良好な生活機能を保持するための大規模縦断的コホート研究 ―つくばハピネスライフコホート―」の一部である「つくば市民のための健康と生活調査」(以下、「本調査」と略します)への参加(回答と返送)をお願いするための説明文書です。この説明文書をよくお読みになって、本調査にご協力いただけるかどうかを検討した上でご回答ください。本調査への参加及びつくば市が筑波大学に対してあなたの個人情報(住所・氏名・性別・生年月日・介護認定情報(全対象者)、医療費・健康診断情報・転帰(国保加入者・後期高齢者の方のみ))を提供することに同意される際は「つくば市民のための健康と生活調査」調査票の冒頭に署名をお願いいたします。

1. 調査の対象となる方

令和4年6月1日現在、つくば市にお住まいの45～89歳の方で、無作為抽出された1万人を対象とします。

- ・原則としてあて名に記載されているご本人がご回答ください。
- ・ご本人の回答が困難な場合は、代理の方(配偶者・ご家族等)がご回答いただくことも可能ですが、ご本人の意思が確認できない場合は代理での回答はしないでください。

2. 調査の目的

本調査では、皆様の健康状態や生活機能等を把握し、生活習慣病予防や健康増進等に役立てるためのデータを取得することを目的とします。主に、筑波大学が主体となる「共創の場形成支援プログラム^{※1}つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点」及びつくば市が進めるスマートシティの取り組み^{※2}のための情報及び健康の保持・増進のための基礎資料として、学術目的に使用します。しかし、個人が特定できる情報は一切公表いたしませんのでご安心ください。

※1 共創の場形成支援プログラム：大学等が中心となり未来のあるべき社会像を策定し、その実現に向けた研究開発を行う産学連携プログラムです。<https://www.jst.go.jp/pf/platform/index.html>

※2 スマートシティの取り組み：最先端の科学技術やデータを活用することで、地域が抱える課題を解決し、だれもが安全・便利で快適に暮らせるまちをめざす取り組みです。<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/torikumi/1013126/1013121.html>

3. 情報の照合

研究目的のために、住所・氏名・性別・生年月日・介護認定情報(全対象者)、医療費・健康診断情報・転帰(国保加入者・後期高齢者の方のみ)と照らし合わせて解析することがあります。

4. 調査内容と研究への同意について

・皆様のからだやこころの状態、生活状況(運動実践状況、社会交流状況、建造環境)をおたずねしております。調査項目の中には、ストレスを感じたり、気分を害したりする恐れのある項目があります。回答したくない項目は、ご回答いただかなくても結構です。それに対して、皆様が不利益を被ることは一切ございません。

- ・調査票への記入には20～30分程度を要します。
- ・個人情報の利用者は筑波大学及び共同研究機関(農研機構、国立環境研究所)のみです。

「共同研究機関」

- ①農研機構 食品研究部門 …………… エグゼクティブリサーチャー 山本(前田)万里
- ②国立環境研究所 エコチル調査コアセンター …………… 次長 中山祥嗣
- ③つくば市役所 スマートシティ戦略課 …………… 課長 中山秀之

・調査票を返送した後でも、いつでも同意を撤回できます。そのことにより不利益を被ることは一切ございません。撤回される場合は裏面の事務局までお問い合わせください。

- ・個人情報の提供につきまして、ご質問等がありましたら、裏面の事務局までご連絡ください。
- ・企業と連携し本調査の内容を異なる研究目的でデータを使用する場合は、改めて筑波大学附属病院の倫理

委員会の承認を得て行います。その際は、つくばデジタルバイオ国際拠点ホームページ (<https://tsukubadigitalbio.jp/info/504/>) にてお知らせいたします。研究内容に同意していただけない場合は、同意の撤回が可能です。また、そのことにより不利益を被ることは一切ございません。

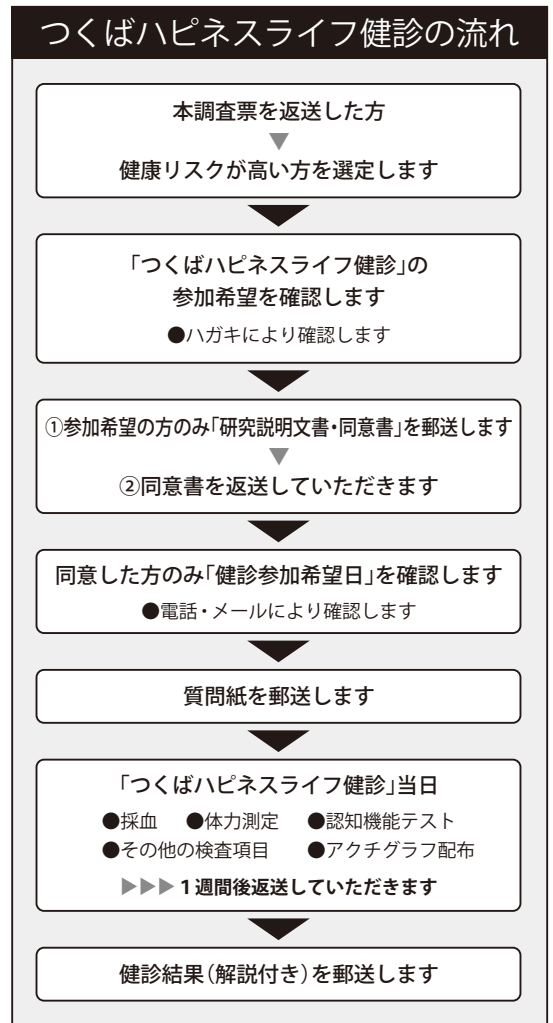
- ・筑波大学が保有する個人データについて、ご本人から情報の開示の求めがあった場合には、該当する個人データを開示します。
- ・本調査は、筑波大学が主体となって実施する研究の一部であり、「筑波大学附属病院倫理審査委員会 (R03-335)」及び体育系長の承認を得ております。

5. 研究結果の公表

- ・結果の公表については、学会、論文、メディア等で発表を行います。あなたの個人情報が公開されることはありません。

6. 今後に関する重要なお知らせ

- ・毎年1回(最長8年間)、調査票が届きます。次年度以降「調査票」を希望されない方は事務局までご連絡ください。
- ・本調査に参加していただいた方の中で、認知機能、生活機能、睡眠状態のリスクが高いと判定された方には筑波大学附属病院で実施する「つくばハピネスライフ健診」やその他の関連する研究をご案内することがあります。
- ・「つくばハピネスライフ健診」は本調査に参加していただいた方のうち、約1,000人を対象として実施いたします(右図)。筑波大学附属病院を会場とし、無料で認知機能や運動機能、睡眠評価、血液検査(下表)等を受けることができ、運動プログラムへの参加等ご自身の健康状態の把握や今後の健康づくりにお役立ていただけます。



つくばハピネスライフ健診での調査項目

生活習慣	身体活動量、食事調査等
血管リスク	血圧、血液検査、体格指数(BMI)、微小血管イメージング等
認知機能	見当識、記憶力、計算力、言語能力、視空間能力、注意力、処理速度等の認知機能テスト、血液検査等
睡眠状況	主観的及び客観的睡眠質の評価
身体機能	握力、下肢筋力、歩行能力、バランス能力、手指の巧緻性等
その他	抑うつ、アレルギー検査、尿検査等

7. 研究責任者及び研究分担者

- ・責任者：筑波大学 体育系…………… 教授 大藏倫博
- ・分担者：筑波大学 医学医療系…………… 教授 西山博之、准教授 鈴木英雄
筑波大学 テーラーメイド QOL プログラム開発研究センター… 研究員 尹 之恩

お問い合わせ先	筑波大学「つくばハピネスライフ研究」事務局 健康と生活調査担当
	電話：090-1871-9921 090-1562-8372 (平日9時～12時、13時～17時) 《電話が混み合う場合がございます。繋がらない時は、時間をおいておかけ直し下さい。》

実施者 実施主体：筑波大学
協力：つくば市